

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

学会賞

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
平成6年度	杉村 隆	国立がんセンター	ヘテロサイクリックアミンの変異・がん原性に関する研究
平成7年度	松島 泰次郎	日本バイオアッセイ研究センター	変異原検出系とがん原性評価についての研究
平成8年度	早津 彦哉	岡山大学	環境中の変異原の検出とその抑制因子に関する研究
平成9年度	石館 基	オリンパス光学工業	染色体異常を指標としたがん原性物質検出法の開発と評価
平成10年度	黒田 行昭	国立遺伝学研究所	哺乳類培養細胞を用いた遺伝子突然変異の検出と抑制に関する研究
平成11年度	長尾 美奈子	東京農業大学	食品中変異原・癌原物質の発見と発がん機構の分子生物学的研究
平成12年度	祖父尼 俊雄	ノバスジーン	変異原研究領域におけるレギュラトリーサイエンスの確立
平成13年度	大西 克成	徳島大学	変異・癌原性物質の産生・代謝とその活性抑制に関する研究
平成14年度	木苗 直秀	静岡県立大学	生活環境中の変異原物質の分離同定とそれらの腫瘍発生との関連性に関する研究
平成15年度	菊川 清見	東京薬科大学	食品中の変異・発がん物質の生成とDNA損傷性およびその低減に関する有機化学的研究
平成16年度	林 真	国立医薬品食品衛生研究所	げっ歯類を用いる小核試験の基礎研究ならびにその行政面への応用
平成17年度	鎌滝 哲也	北海道大学大学院薬学研究科	環境変異原物質の代謝活性化に関わる酵素の分子生物学および分子疫学的研究
平成18年度	能美 健彦	国立医薬品食品衛生研究所	環境変異原物質の新規検出系の作出およびYファミリーDNAポリメラーゼの分子遺伝学的解析
平成19年度	葛西 宏	産業医科大学	DNA酸化損傷としての8-ヒドロキシデオキシグアノシンの発見とその生物学的意義
平成20年度	若林 敬二	国立がんセンター研究所	環境中に存在するがんの原因物質に関する有機化学的、分子生物学的研究
平成21年度	川西 正祐	鈴鹿医療科学大学薬学部	環境変異・発がん因子による活性酸素と活性窒素の生成を介したDNA損傷機構
平成22年度	降旗 千恵	国立医薬品食品衛生研究所	環境変異原・がん原物質の臓器特異的短期評価法に関する研究
平成23年度	八木 孝司	大阪府立大学	シャトルベクタープラスミドを用いた哺乳類細胞突然変異解析系の構築と応用
平成24年度	山添 康	東北大学大学院薬学研究科	薬物代謝評価系の開発および基質特異性予測の研究
平成25年度	下位 香代子	静岡県立大学環境科学研究所	植物成分の抗変異原性効果に関する遺伝学的・生化学的研究
平成26年度	根岸 友恵	岡山大学	ショウジョウバエを用いた紫外線およびアルキル化剤誘発DNA損傷とその修復機構に関する研究
平成27年度	本間 正充	国立医薬品食品衛生研究所	部位特異的損傷をゲノム中に導入したヒト細胞における突然変異誘発機構の研究
平成28年度	青木 康展	国立研究開発法人 国立環境研究所	環境変異原によって誘発された生体内突然変異の解析とそのリスク評価

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

学会賞

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
平成29年度	續 輝久	九州大学大学院医学研究院	遺伝子改変マウスを用いた酸化DNA損傷に起因する発がん機序の解明
平成30年度	宇野 芳文	田辺三菱製薬株式会社	遺伝毒性作用機序に基づくリスク評価と <i>in vivo</i> コメットアッセイの国際的な標準化に関する研究
令和元年度	紙谷 浩之	広島大学	損傷DNAおよびその前駆体を用いる変異の誘発および抑制機構の解明
令和2年度	濱田 修一	株式会社ボゾリサーチセンター	一般毒性試験への組み込みを可能としたラット反復投与赤血球・肝臓小核試験の開発
令和3年度	鈴木 孝昌	国立医薬品食品衛生研究所	トランスジェニック動物およびオミクス解析を基盤とした新たな変異原性研究の確立
令和4年度	羽倉 昌志	エーザイ株式会社	大腸非発がん性変異原物質と炎症誘発剤との併用による発がん機序に関する研究
令和5年度	三島 雅之	中外製薬株式会社	医薬品の遺伝毒性評価における多角的アプローチ:kinase 阻害物質の小核誘発機序解明から(Q)SAR 予測の信頼性向上への取り組みまで
令和6年度	山田 雅巳	防衛大学校	新規Ames試験菌株を用いた突然変異メカニズムの解明とGenes and Environment誌の国際化への貢献
令和7年度	戸塚 ゆ加里	星薬科大学	次世代シーケンサー(NGS)とアダクトーム解析を用いた遺伝毒性物質の探索と発がんメカニズムに関する研究

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

奨励賞(昭和54年度～平成5年度)

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
昭和54年度	長尾 美奈子	国立がんセンター研究所	食品の変異原因子に関する研究
昭和55年度	石館 基	国立衛生試験所	環境変異原および癌原物質の染色体異常によるスクリーニング
	常盤 寛	福岡県衛生公害センター	大気中の変異原性汚染物質の実態の調査と研究
昭和56年度	賀田 恒夫	国立遺伝学研究所	環境変異原検出に関する Rec-assay の開発とその応用
昭和57年度	松島 泰次郎	東京大学医科学研究所	変異原性検出による化学物質の発癌性評価についての研究
	早津 彦哉	岡山大学	環境中の変異原物質の作用機作に関する化学的研究
昭和58年度	葛西 宏	国立がんセンター研究所	加熱食品中の強力な変異原イミダゾキノリンおよびイミダゾキノサリンの発見
昭和59年度	大西 克成	徳島大学	環境中のニトロピレン類の検出および代謝に関する研究
昭和60年度	若林 敬二	国立がんセンター研究所	食品中の新しい変異原前駆物質の研究
昭和61年度	林 真	国立衛生試験所	In vivo 小核試験法の基礎と応用に関する研究
	森本 兼曩	大阪大学	ヒト抹消リンパ球における姉妹染色分体交換 (SCE) 誘発に関する研究
昭和62年度	梁 治子	大阪大学	ショウジョウバエによる環境変異原検出系に関する研究
	藤川 和男	武田薬品工業中央研究所	ショウジョウバエによる環境変異原検出系に関する研究
昭和63年度	土川 清	国立遺伝学研究所	マウス・スポットテスト系の確立
	降旗 千恵	東京大学医科学研究所	環境変異原・癌原物質の in vivo 短期評価法の開発と応用
	山添 康	慶応義塾大学	環境変異原の酵素的活性化機構の研究
平成元年度	有元 佐賀恵	岡山大学	ポルフィリン類による多環性化合物の変異原活性阻害の研究
	祖父尼 俊雄	国立衛生試験所	哺乳動物試験に影響を及ぼす要因の解析とその協力研究の推進
平成2年度	巽 紘一	京都大学	ヒト細胞を用いた環境変異原の検出と作用機構
	渡部 烈	東京薬科大学	メチル基置換芳香族炭化水素の代謝的活性化
平成3年度	菊川 清見	東京薬科大学	食品・医薬品由来の変異原物質の分離・同定とその生成機構
平成4年度	能美 健彦	国立衛生試験所	ニトロアレーン、芳香族アミンに高感受性を示すサルモネラ菌株の開発

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

奨励賞(昭和54年度～平成5年度)・研究奨励賞(平成6年度～)

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
平成5年度	鎌滝 哲也	北海道大学	変異原物質の代謝的活性化に関与するチトクロームP-450の基礎的・応用的研究
	木内 武美	徳島大学	変異原物質の腸内菌による代謝に関する研究
	糠谷 東雄	静岡県立大学	食品中の変異原物質の分離同定
平成6年度	太田 敏博	東京薬科大学	香料成分の抗変異原性作用機構
	高橋 和彦	名古屋市立大学	アルキル化剤による変異誘発に対する修飾作用の分子機構
平成7年度	荒木 明宏	日本バイオアッセイ研究センター	気相曝露による微生物変異原性試験法の開発とその利用
	下位 香代子	静岡県立大学	突然変異修飾因子の検索とその作用機構に関する研究
平成8年度	根岸 友恵	岡山大学	ショウジョウバエを用いた変異原性修飾因子の研究
	森田 健	日本グラクソ筑波研究所	染色体異常試験における培養環境の研究
平成9年度	世良 暢之	福岡県保健環境研究所	ニトロアレーンの構造・変異活性相関およびヒト暴露の実態
平成10年度	佐々木 有	八戸工業高等専門学校	コメットアッセイを用いたマウス多臓器DNA損傷の検出
	山田 雅巳	国立医薬品食品衛生研究所	遺伝子工学的手法を用いたアルキル化剤高感受性サルモネラ試験菌株の作製とその応用
平成11年度	宇野 芳文	三菱東京製薬医薬総合研究所	複製DNA合成(RDS)試験法を応用した非変異・肝癌原性物質の検出系確立
	渡辺 徹志	京都薬科大学	大気・土壌中の変異原物質の定量的評価に関する研究
平成12年度	布柴 達男	東北大学	大腸菌の活性酸素防御応答と突然変異誘発機構に関する研究
	本間 正充	国立医薬品食品衛生研究所	がん抑制遺伝子p53の組換え修復を介した遺伝的安定化機構
平成13年度	平本 一幸	東京薬科大学	フリーラジカルを経由する環境変異・発がん物質の生成と発現に関する研究
	若田 明裕	山之内製薬安全性研究所	げっ歯類の培養細胞と個体を用いる小核試験法の検討
平成14年度	鈴木 孝昌	国立医薬品食品衛生研究所	トランスジェニックマウス変異原性試験の有用性に関する研究
	赤沼 三恵	残留農薬研究所	大腸菌における突然変異スペクトルの簡易解析法の開発に関する研究
平成15年度	羽倉 昌志	エーザイ安全性研究所	化学物質による in vitro および in vivo における突然変異の定量的解析に関する研究
	戸塚 ゆ加里	国立がんセンター研究所	Norharman の co-mutagenic 作用機構に関する研究
平成16年度	高村(塩谷)岳樹	国立がんセンター研究所	環境から分離した新規変異原物質のDNA修飾に関する研究

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

奨励賞(昭和54年度～平成5年度)・研究奨励賞(平成17年度～)続き

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
平成17年度	石川 さと子	共立薬科大学基礎薬学講座	N-ニトロソ化合物の活性化体の性質に基づいた制がん性リード化合物の創製
	福原 潔	国立医薬品食品衛生研究所	抗変異原物質をめざしたカテキン類の平面固定化反応に関する研究
平成18年度	及川 伸二	三重大学医学部	癌原物質および抗酸化物質によるDNA酸化損傷機構の解析
	紙谷 浩之	北海道大学大学院薬学研究科	DNA前駆体の酸化損傷による変異の分子機構とその防御システムの解明
平成19年度	倉岡 功	九州がんセンター	ヒト細胞におけるDNA損傷のヌクレオチド除去修復機構に関する研究
	中村 考志	京都府立大学人間環境学部	京野菜に含まれる抗変異原の同定とその作用機構
平成20年度	増村 健一	国立医薬品食品衛生研究所	<i>gpt delta</i> トランスジェニックマウス試験系を用いた点突然変異と欠失変異の選択的検出
平成21年度	松田 知成	京都大学大学院工学研究科	LC/MS/MSを用いたDNA付加体の網羅的解析に関する研究
	三浦 大志郎	帝人ファーマ株式会社	内在性Pig-A遺伝子をレポーターとするin vivo遺伝子突然変異評価系の開発
平成22年度	竹入 章	中外製薬株式会社	<i>gpt delta</i> マウスおよびその由来細胞を用いたDNAクロスリンク剤の変異誘発機構
平成23年度	伊吹 裕子	静岡県立大学環境科学研究所	ヒストン修飾を指標とした環境化学物質と光の複合影響に関する研究
平成24年度	稲見 圭子	東京理科大学薬学部	化学モデル系を用いた代謝活性化機構の解明とその応用
平成25年度	川西 優喜	大阪府立大学理学系研究科	大気由来する多環芳香族炭化水素による突然変異生成メカニズムの研究
	安井 学	国立医薬品食品衛生研究所	DNA付加体を部位特異的に含むDNAオリゴマーの構築とその突然変異誘発機構の解析
平成26年度	成見 香瑞範	株式会社ヤクルト本社中央研究所	成熟ラットを用いた反復投与肝小核試験法の開発に関する研究
平成27年度	和田 邦生	一般財団法人残留農薬研究所	コメットアッセイを用いた膀胱上皮細胞における遺伝毒性評価法の開発
平成28年度	喜納 克仁	徳島文理大学 香川薬学部	グアニン酸化損傷の生成およびその修復・複製に関する研究
	松崎 香織	中外製薬株式会社	γ H2AXを指標とした異数性誘発物質の新規検出法の確立とその医薬品開発への応用
平成29年度	松田 俊	富士フィルム株式会社	DNA損傷応答の定量化および可視化に関する研究
平成30年度	木本 崇文	帝人ファーマ株式会社	<i>Pig-a</i> アッセイの標準化に関する研究: PIGRET法の開発および技術基盤の確立
	堀端 克良	国立医薬品食品衛生研究所	<i>Pig-a</i> アッセイの標準化に関する研究: バリデーション研究の推進とヒトへの適用
令和元年度	石井 雄二	国立医薬品食品衛生研究所	遺伝子改変げっ歯類を用いるDNA付加体解析を始めとする遺伝毒性機序解明
	本田 大士	花王株式会社	遺伝毒性発がん性予測への機械学習の適用

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

奨励賞(昭和54年度～平成5年度)・研究奨励賞(令和2年度～) 続き

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
令和2年度	鈴木 哲矢	広島大学大学院 医系科学研究科	遺伝子改変細胞を用いた変異誘発制御の分子機構の解明
	堀 妃佐子	サントリー-MONOZUKURIエキスパート(株)	動物3Rを考慮したトランスジェニックラット包括的遺伝毒性試験系の構築
令和3年度	岡本 誉士典	名城大学薬学部	DNA損傷に着目した人工エストロゲンの発がんリスク低減に関する基盤研究
	橋本 清弘	武田薬品工業株式会社	小核試験の標準化に向けたTK6細胞の異数性小核誘発機構に関する研究
令和4年度	佐々 彰	千葉大学	DNA中のリボヌクレオチドに起因する変異誘発機構とゲノム不安定性に関する研究
	笹谷 めぐみ	広島大学	モデル生物を用いた放射線発がんの機構解明
令和5年度	岡田 恵美子	株式会社ヤクルト本社	ラットを用いた腺胃および結腸小核試験法の開発に関する研究
	松村 奨士	花王株式会社	Error-corrected sequencing による突然変異検出法の開発と変異原性評価への応用に関する研究
令和6年度	内村 有邦	公益財団法人 放射線影響研究所	全ゲノムシーケンシングを用いたde novo生殖系列突然変異に関する研究
	豊岡 達士	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所	γ -H2AXを指標とした化学物質により誘発されるDNA損傷性に関する研究
令和7年度	小林 果	三重大学	健康食品および医薬品による酸化的DNA損傷機構の解明
	千蔵 さつき	Axcelead Tokyo West Partners株式会社	<i>Pig-a</i> アッセイプロトコールの精緻化と国際発信によるOECDテストガイドライン化への貢献

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

功労賞

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
平成14年度	菊池 康基	国際医薬品臨床開発研究所	In vivo 遺伝毒性試験の基礎的研究とガイドラインへの適応
平成15年度	(被推薦者無し)		
平成16年度	田中 憲穂	食品薬品安全センター	生殖細胞および培養細胞を用いた遺伝毒性試験法の開発と国際標準化への貢献
	西岡 一	京都バイオサイエンス研究所	変異原および抗変異原の作用機構に関する研究とその振興
平成17年度	(被推薦者無し)		
平成18年度	島田 弘康	第一製薬(株) 安全性管理部	医薬品の安全性評価における各種遺伝毒性試験の適用と国際調和 への貢献
平成19年度	(被推薦者無し)		
平成20年度	望月 正隆	東京理科大学薬学部	有機化学的アプローチによる環境変異原の作用機構解析 と制がん研究への応用
平成21年度	浅野 哲秀	大阪女学院短期大学	In vivo遺伝毒性試験の発展と学术交流への貢献
平成22年度	(被推薦者無し)		
平成23年度	(被推薦者無し)		
平成24年度	長尾 美奈子	慶應義塾大学薬学部	Genes and Environment のレベル向上および国際化への貢献
	澁谷 徹	Tox21 研究所	生殖細胞の突然変異研究および環境エピゲノミクス研究の推進
平成27年度	(被推薦者無し)		
平成26年度	高橋 和彦	横浜薬科大学	変異機構研究会の継続的開催を通じた若手研究者育成への貢献
	林 真	食品農医薬品安全性評価センター	レギュラトリーサイエンスにおける遺伝毒性試験の国際的協調に対する貢献
平成27年度	(該当者無し)		
平成28年度	小田 美光	大阪信愛女学院短期大学	微生物のSOS反応を利用したumu試験の開発とその国際貢献
平成29年度	森田 健	国立医薬品食品衛生研究所	遺伝毒性試験法の最適化と国際標準への貢献
平成30年度	(被推薦者無し)		
令和元年度	(被推薦者無し)		
令和2年度	加藤 雅之	シミックファーマサイエンス株式会社	Ames試験の精度および信頼性向上への貢献
令和3年度	松元 郷六	一般財団法人残留農薬研究所	多色FISHによる染色体異常新規検出系の確立ならびにレギュラトリーサイエンスにおけるin vivo試験系の精度向上に対する貢献

日本環境変異原ゲノム学会 学会賞、研究奨励賞、功労賞 受賞者リスト

功労賞

年 度	氏 名	所 属	受賞題目
令和4年度	有元 佐賀恵	岡山大学	抗変異原性ならびに光遺伝毒性を有する物質に関する研究の推進
令和5年度	河井 一明	産業医科大学	酸化ストレスに伴うDNA 修飾体の分析法開発を基盤とした環境変異原研究への貢献
令和6年度	大山 ワカ子	株式会社ヤクルト本社	げっ歯類消化管小核試験法の開発と国際標準化への貢献
令和7年度	(被推薦者無し)		